

日本におけるエスペラントとハンセン病

後藤 斉 (東北大学名誉教授)

アジア文化研究所 シンポジウム
「日本におけるエスペラント受容～ハンセン病との関わりから～」
2024-11-02
東京都三鷹市 国際基督教大学

1

概要

- 1920～30年代のエスペラント運動高揚期には多様な人々がこれに加わった。ハンセン病関係者によっても、この時代を中心に、立場に応じて様々な動機や意図を伴いながら、エスペラントを契機とした多様な言語、文化、社会的活動が行われた。
- エスペラントとハンセン病の関りを総合的に理解することは容易ではなく、従来は十分な取り扱いがなされなかった。柴田巖・後藤斉編『日本エスペラント運動人名事典』(ひつじ書房, 2013)の準備のため調査を行ったが、当初の予想以上の広がりがあった。

2

目次

- まえおき
- 日本におけるエスペラントの受容
- エスペラントとハンセン病
- 全生エスペラントクルーボ
- 寄付金付き切手
- まとめ

3

0. まえおき 後藤 斉 ごとう ひとし

1991-2021年、東北大学文学部・大学院文学研究科(言語学)助教授・教授。2021年3月、同定年退職。4月、名誉教授に。

専門分野は言語学、特にロマンス語学、日本語コーパス言語学および語彙の分析、言語学史、エスペラント学など。

『エスペラント日本語辞典』(日本エスペラント学会, 2006) 編集副主幹

『日本エスペラント運動人名事典』(ひつじ書房, 2013) 柴田巖と共編

『人物でたどるエスペラント文化史』(日本エスペラント協会, 2015) 今日の話は、だいたいこれで扱った。

4

1. エスペラントの概要

1887年、特定の国や民族に属さない中立の国際語として、ザメンホフがエスペラント博士の筆名で『国際語』(『第一書』)をワルシャワ(ロシア帝国領)で出版して提唱。

初めはロシア語版、引き続き、ポーランド語、フランス語、ドイツ語、英語の各言語版。40ページ + 単語集(約900語)。

例文には手紙の例や「主の祈り」と聖書の一節のほか、ハイネの詩の訳とザメンホフのオリジナルの詩。



1. エスペラントの概要

19世紀末～20世紀初頭 フランスを中心にヨーロッパ各地に広がる

1905 フランス、ブローニュ・シュル・メールにて第1回世界エスペラント大会、以後定例化。演説、討議、歌唱、演劇、雑談など音声言語使用。ブローニュ宣言採択

この頃までにエスペラント言語共同体が成立

6

1. エスペラントの受容 日本

- 1887 ザメンホフ『第一書』
- 1888 読売新聞で紹介
- 1903 吉野作造「世界普通語エスペラントー」(『新人』)
- 1905 第1回世界エスペラント大会
- 1906 二葉亭四迷『世界語』。黒板勝美ら日本エスペラント協会創立。第1回日本エスペラント大会
- 1919 日本エスペラント学会(現協会)創立
- 1965 第50回世界エスペラント大会(東京) アジア初
- 2007 第92回世界エスペラント大会(横浜)
- 2024 日韓共同開催エスペラント大会(韓国・全州)

7

1. エスペラントの受容 時代背景

戦間期(第一次大戦後から第二次大戦開始まで)は**世界的に平和思想が高まった**。日本では**大正デモクラシー**とも重なる。これを背景に、**世界的にも日本でもエスペラントの高揚期**を迎えた。1919年に創設された日本エスペラント学会(現(一財)日本エスペラント協会)のほか、エスペラント運動はさまざまな形で展開され、宗教やプロレタリア運動からエスペラントに近づく人もいた。**知識人、学生だけでなく多くの一般庶民もエスペラント運動に参加した**。有名人を挙げれば、吉野作造、新村出、秋田雨雀、柳田国男、伊波普猷、比嘉春潮、宮沢賢治など。支援者に新渡戸稲造、後藤新平、安達峰一郎など。

8

1. エスペラントの受容 日本

- 1920 ラムステット、フィンランド公使として来日。
- 1921 エロシenko、日本から追放(1914来日)。
- 1921 新渡戸稲造、第13回世界大会(プラハ)に参加し、好意的な報告書を国際連盟に提出。
- 1922 衆議院、エスペラントに関する調査請願を採択。
- 1926 日本エスペラント医学協会設立。
- 1927 鉄道省、Gvidlibreto por Japanlandoを発行。
- 1927 清見陸郎訳『寡婦マルタ』。
- 1930 黒川眸訳『悲惨のどん底』。ペレール来日。
- 1937 長谷川テル、中国に渡り抗日運動に参加。

9

エスペラントについての主要参考文献

- ・エスペラント日本語辞典編集委員会編 2017 『エスペラント日本語辞典』第二版 日本エスペラント協会。
- ・後藤齊 2018「国際語エスペラント 一言語共同体の特性から」『日本語学』2018年5月特大号。
<https://www2.sal.tohoku.ac.jp/~gothit/nhnggk1805.html>
- ・木村護郎・クリストフ・渡辺克義編 2009 『媒介言語論を学ぶ人のために』 世界思想社。
- ・木村護郎・クリストフ 2021 『異言語間コミュニケーションの方法 一媒介言語をめぐる議論と実際』 大修館書店。

10

2. エスペラントとハンセン病

『La Movado』707号(2010.1)~722号(2011.4)
加筆版: <https://www2.sal.tohoku.ac.jp/~gothit/hansen/>

7. おわりに

この連載を申し出たときには、これほど長く続くと予想していなかった。調べるうちに、次々と発見があった。一方、調査には限界もあり、残念ながら「わからない」とせざるを得ない事例も残ってしまった。

本稿では単に事実を並べるだけでなく、それらの間の関連、エスペラント運動全体や時代状況とのつながりも明らかにしようと努めた。日本のエスペラント運動史については、これまでの研究の蓄積は必ずしも少なくはない。しかし、本稿はこれまで取り上げられてこなかった視点が数多く残っていることの例証にもなっている。

2. エスペラントとハンセン病

- ・全生エスペラント・クルーボ
1929~1935年、全生病院院長光田健輔、医師林文雄、塩沼英之助、患者黒川眸、橋原澄流、山名実ら
- ・愛国切手の裏側
1930~1937年、東北大生土井英一、長島愛生園職員宮川量ら
- ・外島のともしび
1926~1933年、外島保養院院長村田正太、職員吉田清ら
- ・兵役拒否をこえて ーイシガ・オサムー
戦中~戦後、星塚敬愛園職員イシガ・オサム、園長塩沼英之助ら
- ・残照
戦後、邑久光明園職員森幹郎、医師塩沼英之助ら

2. エスペラントとハンセン病

エスペラント活動は隔離政策の枠内で行われた。

隔離推進の中心人物である光田健輔は隔離の中にエスペラントを積極的に位置づけ、利用しようとしていたらしい。「国際語の単語を覚えることで人生の希望が増す、外国の療養所との間で通信ができれば色々な面で好結果が得られるであろうとゆうような意見」(RO1949.12)

医師らは光田の影響を受けたが、単に追従した訳ではない。特に、村田正太には独自の考えがあった。

患者の黒川眸や揚原澄流、山名実らは光田ら医師からの勧めで学習したが、エスペラントに生きがいを見出した。

土井英一はキリスト教関係から「救済運動」に接近した。

職員員のイシガと森は患者にエスペラントを教えたが、いずれも1950年代に強制隔離政策への疑問を指摘した。

3. 全生エスペラントクルーボ

全生(ぜんせい)病院 (現国立療養所多磨全生園)

1929年12月、講習会

終業式の光景

中央わらいつゝ盲人の肩に手を置くは光田院長、盲人は山名老人、窓の柱の前白衣の背の低きは塩沼導手(グビダント)。その後は訳者。(『悲惨のどん底』より)



全生エスペラントクルーボ

3. 全生エスペラントクルーボ

院誌『山桜』の短歌欄など

半句一句 解り初めたる 世界語の エスペラントは 楽しかりけり (揚原澄流)

窓を開けて 涼入れ居れば 壁に貼りし ザメンホフの 像 おごそかにゆれぬ

スリツパの 音近づきて 扉に現(あ)れし 指導者(グヴィダント)塩沼 ほがらかに笑ます

病めりとし 思ふ心の いつしかに 教室に来れば 忘れてありぬ (以上、黒川眸)

3. 『悲惨のどん底』

W. Sieroszewski 著、Kabe 訳

La fundo de l'mizero (1904)

黒川眸(1906~1932.11)訳

『悲惨のどん底』(長崎書店, 1930)

初の、ハンセン病者による作品の

単行本での刊行 → 園山先生発表

全生クルーボの活動はエスペラント

界ではそれなりに周知に

別訳として:

和見正夫(=村上信彦)訳

『悲惨の涯』(興風館, 1940)



3. 全生エスペラント・クルーボ

Lucien Péraire (1907~1997)

リュシアン・ペレール フランス人

1928~32年ユーラシア

自転車旅行、その間1930年に

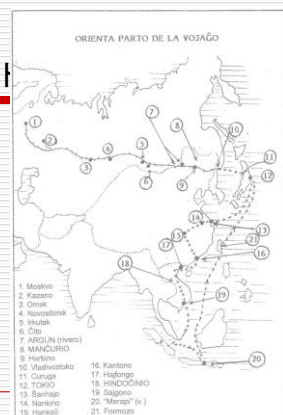
3カ月滞日



S-ro Péraire kun Gita saasdeanoj

3. 全生エスペラント

Lucien Péraire



3. 全生エスペラ

Lucien Péraire

2024年6月8日、
生地Lavardacに
記念碑が除幕
(高さ 8.4m !)



3. 全生エスペラント・クル

Lucien Péraire

のち旅行記 *Tra la mondo per
biciklo kaj Esperanto* を刊行

1930年8月23日 全生病院を訪問

「参加者の多くがエスペラントで
直接私に質問してきた。」

何時の頃 帰国されむかと 問ふに唯
わからぬと答ふ この放膽さ 黒川眸

学者の視察や布教師の伝道などを除けば患者にとって
まれな、実際の国際交流



3. 全生エスペラント・クルーボ

院誌『山桜』のエスペラント欄、1935年10月号まで。

主に山名実によるか。俳句や川柳の訳が目立ち、できの
よいものばかりではないが、詩的に訳そうと苦心した跡がみ
られる。

雲雀より 上に休らふ 峠かな 芭蕉

Ni ripozas / Ĉe la monta pasejo / Jen, super l'
alteflugaj alaŭdoj!

日頃にきき 鳥も雪の あしたかな 芭蕉

Ho, ordinare malaminda korv' -- / Kiel aminde
/ En la maten' de neĝ!

4. 寄付金付き切手

寄付金付き切手 郵便料金に寄付金を足した額で販売

最近では東日本大震災(2011)や東京オリ・パラ(2019)、関西万
博(2024)などで発行

2025(令和7)年寄付金付き年賀はがき

全国版

宮城県版



22

4. 寄付金付き切手 土井英

土井英一 (どい・えいいち)

本来は「つちい」

1909.9.17~1933.9.9

片平丁小学校、(旧制)仙台一中、
(旧制)第二高等学校をへて

1929年に東北帝大文学部入学、
病氣療養のため休学し、**在学中に没**



23

4. 寄付金付き切手 土井

父 土井晩翠 (どい・ばんすい)

本名林吉 (1871~1952)

第二高等学校教授

英文学者・詩人「荒城の月」で知られる

1950(昭和25) 文化勲章

母 土井八枝 (どい・やえ) (1879~1948)

『随筆 薔柑子』長崎書店, 1940.

英一の没後、夫妻で仙台エスペラント会を支援して賛助会員



24

4. 寄付金付き切手 英一の生い立ち

土井英一（どい・えいいち） 本来は「つちい」
1909(明治42)年9月17日生まれ
片平丁小学校、(旧制)仙台一中をそれぞれ一年短縮して修了。
1922年、ノーベル賞受賞決定の直後に訪日した**アインシュタイン**は東北大での講演会ののち、晩翠から詩を贈られ、帰途の船中から晩翠への礼状とともに、**英一(満13歳!)**に宛てたメッセージも書き送った(現在、東北大学附属図書館蔵、『まなびの杜』69号所載)。

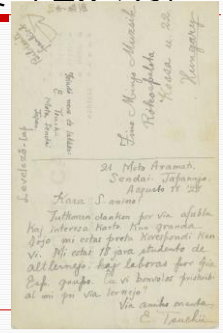
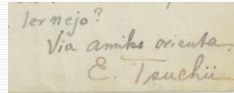
25

4. 寄付金付き切手 英一とエスペラント

国際語エスペラントを通じて世界の人々と親交を結び、また、外国人に日本の認識を正しくもてらおうと、国際文通に励んだ。

1928.08.11

ハンガリーのMuzsikさん宛て



4. 寄付金付き切手

英一は、ヨーロッパの文通相手から受け取った郵便物に、変わった料金表示の切手が貼ってあることに気づいた。**郵便料金額に寄付金を付加して販売される慈善切手**であることを知ると、これを**日本にも導入して、社会事業に役立てることを考えた**。

英一が集めて、内ヶ崎に資料として託した外国の慈善切手の一部 →



27

4. 寄付金付き切手

…例へば一銭五厘切手を二銭に、同じく三銭切手を四銭に全国の郵便局から発売するもので、政府はその付加額を回収して慈善の目的に使用する。欧米各国では夙にこれを実行してあるが、一団体の義捐金募集に比べて遥に普遍的であり民衆的である。… その数多き点において列国中に比を見ざるわが癩病患者の救済問題 … この切手を貼った手紙が全国津々浦々に行きわたる時、それは**全国民の公共心を刺激せずには止まないであらう**。

慈善切手を呼びかける英一の投書

『東京日日新聞』(1930.10.9) →



28

4. 寄付金付き切手 慈善切手

英一は世界の慈善切手に関する調査結果をレポートにまとめて、晩翠を通じて宮城県選出の代議士**内ヶ崎作三郎**(1876~1947、二高および東大英文科で晩翠の後輩、早稲田大学教授、のち衆議院副議長)に働きかけた。内ヶ崎は、1933(昭和8)年3月、第64回帝国議会衆議院建議委員会に「慈善郵便切手発行二閣スル建議案」を提出した。議事録を読むと、内ヶ崎が「戒ル特殊ノ人ノ手ヲ通ジ」て調査したというヨーロッパ諸国の事情の説明は非常に詳しく、逓信省が驚くほどだった。

しかし、逓信省側は、「大吏結構ナコト」としながらも、従業員の負担増や予算不足を理由に積極的ではなかった。建議が衆議院本会議で可決されたとの知らせは病床の英一を喜ばせたが、なかなか実際の発行には至らなかった。英一は、「愛国切手」と呼びかえて、その実現を家族や内ヶ崎に、文字通り死の瞬間まで訴えかけた。

29

4. 寄付金付き切手 愛国切手

・宮川量「癩なからしむるための資源 愛国切手運動提唱」『日本MTL』28 (1933.6)

・宮川量「愛国慈善切手運動の提唱者 土居[ママ]英一兄を憶う」『日本MTL』35 (1934.1)

・林文雄『日本の奴隷解放 附愛国慈善切手運動提唱』(1934) (日本MTL長島支部パンフレット)

4. 寄付金付き切手 愛国切手

英一の没後、内ヶ崎は、1935(昭和10)年3月9日、目的を民間航空事業奨励という名目に切り替えて、「愛国郵便切手発行ニ関スル建議案」を第67回帝國議會に提案しなした。3月12日、内ヶ崎は委員会での趣旨説明の発言で、眞の提案者は英一であることを明かす。

「何故ニ私ハ此建議案ヲ先年衆議院ニ提案致シタト申シマスト、…土井晩翠君ノ長男英一君ガ、東京[ママ]帝國大学在学中此事ヲ考ヘラレマシテ、「エスペラント」ニ依リマシタリ、或ハ其他英独ノ文字ヲ使ヒマシテ、サウシテ歐羅巴ニ於ケル同志ト通信ヲセラレテ、サウシテ材料ヲ提供セラシ、私ノ方ニ議會ノ問題ニシテ與レナイカト云ウコトヲ熱心ニ頼マレマシタ為ニ、私ハ土井英一君ノ熱心ニ助力サレテ提案致シタノデアリマス、然ルニ英一君ハ一昨年ノ秋病ヲ以テ死去セラレタノデゴザイマシテ、私ハ偶然病氣見舞ニ行ツテ、其最期ノ瞬間ニ会フコトガ出来タノデゴザイマシテ、私ニ対スル一種ノ遺言ノヤウニナツテ居ルノデアリマス…」。

4. 寄付金付き切手 愛国切手

日本初の寄付金付き切手は1937(昭和12)年6月1日に「愛国切手」として発行された。2銭、3銭、4銭にそれぞれ2銭の寄付金がつく3種類(色はそれぞれ紅色、紫色、綠色)で、図案は日本アルプスの上空を飛ぶダグラスDC-2型機。同時に発売された愛国葉書は2銭プラス寄付金3銭。

寄付金の使途は民間航空の振興のためとされた。



32

4. 寄付金



愛国切手発行の経緯を伝える『河北新報』記事 (1937.6.1)

33

4 土井



愛国切手発行の経緯を伝える『東京朝日新聞』記事 (1937.6.16)

4. 寄付金付き切手 愛国切手

内ヶ崎作三郎「愛国切手の誕生秘話」(1937)

この愛国切手は、英一君の初めての考へとは少しく性質の異なつたものとなつて現れた。英一君は、慈善切手と銘打つて、専ら癩者と結核の撲滅を目的としてゐたのであるが[…]民間航空事業の貢献に資することゝなつた。[…]英一君の理想の慈善事業にまでは、必ず私の手で、近き将来に於て実現するやう努力したいと思つてゐる。[…]

英一君が、世にも珍しい知と徳とを兼ね備へながら、僅か二十五歳で夭折したことは、天二物を与へずとは言ひながら、まことに遺憾極まりないことであるが、しかしその事業は、碌々として馬鹿を重ねる人比して遥かに命永く、[…]

35

まとめ

- 1920～30年代のエスペラント運動高揚期には、ハンセン病関係者によつても、立場に応じて様々な動機や意図を伴いながら、エスペラントを契機とした多様な言語、文化、社会的活動が行われた。今回は、全生エスペラントクルーボと愛国切手を主に取り上げた。
- エスペラントとハンセン病の関りを総合的に理解することは容易ではなく、柴田巖・後藤育編『日本エスペラント運動人名事典』(ひつじ書房、2013)を契機に調査を行ったが、当初の予想以上の広がりがあった。調査の行き届かない点も残っている。

36